※令和３年度以前入学生用

学校番号	1201

令和　５年度　環境科

教科	環境	科目	環境Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「環境Ⅰ」での学習を踏まえ、身近な環境から国際的な地球環境問題まで、知識の習得や体験活動を通して環境を保全する態度を養う。その上で、生物や各国の多様性を考え、持続可能な社会をつくることができる姿勢を学ぶ。

2　学習の到達目標

・環境問題について身近なものから地球レベルのものまで、学習や体験を通して知識を習得し、原因・背景も含めて理解する。
・国際的な環境問題に対して、各国の現状を知り、協力的な解決の方向を思索する。
・環境問題に対する自分の意見を持ち、発信することができる。
・問題解決のため、持続可能な社会を構築するために、自分でできることを考え、行動できるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	様々な環境問題について、自分の生活と関連づけて、意欲的に探究をしようとし、自分にできることを考えようとする。	各領域において探究する過程を通して、事象を多様な観点から考察し、自らの考えを適切に導き出すことができる。	様々な環境問題に対して、個人の範囲での解決方法を身に付ける。 調査した内容を精査し、その上で自分の意見を表現できる。 体験活動や実習に正しく取り組むことができる。	生活環境、自然環境について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・受講態度の観察 ・学習プリント ・レポート 等	・受講態度の観察 ・学習プリント ・レポート 等	・受講態度の観察 ・学習プリント ・レポート 等	・受講態度の観察 ・学習プリント ・レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	生物の多様性と環境	・身近な生き物を知ろう。 ・生き物の多様性と環境 ・絶滅した生物と絶滅危惧種 ・外来種との環境	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	ａ：身近なものから世界の生物の置かれている環境を意識し、意欲的に探求しようとする。 ｂ：生物と環境の関わりについて、自分の考えを表現することができる。 ｃ：生物の置かれている環境について調査し、現状の把握や課題に取り組むことができる。 ｄ：生物の多様性と環境の現状について理解し、知識を身に付けている。	学習状況・探究活動・プリント・観察・実験・レポート・発表
1学期後半	生活環境と公害	・生活と環境 ・公害と環境 ・四大公害について	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	ａ：生活する環境についての問題である公害について問題意識を持ち、意欲的に探求しようとする。 ｂ：生活に関わる環境問題について、自分の考えを表現することができる。 ｃ：公害をはじめ、人間生活に大きな影響を与える問題について調査し、現状の把握や課題に取り組むことができる。 ｄ：生活環境に関わる公害について理解し、知識を身に付けている。	学習状況・探究活動・プリント・観察・実験・レポート・発表
2学期前半	大気汚染問題	・身近な空気の状況 ・大気汚染調査をしよう ・日本の大気汚染問題 ・世界の大気汚染問題 ・大阪と公害～西淀川公害～	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	ａ：大気に関する状況に興味を持ち、意欲的に探求しようとする。 ｂ：大気汚染問題について、自分の考えを表現することができる。 ｃ：大気汚染問題について調査し、現状の把握や課題に取り組むことができる。 ｄ：大気汚染問題について理解し、知識を身に付けている。	学習状況・探究活動・プリント・観察・実験・レポート・発表

※令和３年度以前入学生用

２学期後半	地球環境と世界	・世界と環境 ・日本の問題と世界の問題 ・戦争による環境破壊 ・未来の環境保全	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	ａ：日本を含めた世界の環境問題に興味を持ち、意欲的に探求しようとする。 ｂ：世界の環境問題について、自分の考えを表現することができる。 ｃ：世界の環境問題について調査し、現状の把握や課題に取り組むことができる。 ｄ：世界の環境問題について理解し、知識を身に付けている。	学習状況・探究活動・プリント・観察・実験・レポート・発表
３学期	自分と世界の環境	・環境調査レポート	○	○	○	○	ａ：身近なものから地球規模の環境問題に興味を持ち、意欲的に探求しようし、その解決に向けた姿勢をとる。 ｂ：身近なものから地球規模の環境問題ついて、自分の考えを表現し、持続可能な社会の構築に必要なことを思案することができる。 ｃ：身近なものから地球規模の環境問題ついて調査し、現状の把握や課題に取り組むことができる。 ｄ：身近なものから地球規模の環境問題ついて理解し、知識を身に付けている。	学習状況・探究活動・プリント・レポート・レポート・発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。